

平成 22 年 5 月 20 日

各 位

会 社 名 テクノホライズン・ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 竹内 清
 (J A S D A Q ・ コード 6 6 2 9)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役 水野 雅裕
 電話 0 5 2 - 8 2 3 - 8 5 5 1

平成 23 年 3 月期の業績予想及び配当予想について

当社は、平成22年4月1日付けで株式会社タイテック及び株式会社エルモ社両社の株式移転により共同持株会社として設立されました。

つきましては、「テクノホライズン・ホールディングス株式会社」の平成23年3月期の業績予想及び配当予想を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期連結累計期間	23,700	660	620	690	32.76
通 期	45,350	1,030	990	880	41.78

(注) 1株当たり当期純利益の算出にあたっては、平成22年4月1日現在の発行済株式数21,063,240株を使用しております。

2. 平成23年3月期の配当予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(基準日)	1株当たり配当金					配当性向 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	年 間	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	%
23年3月期 (予想)	—	0.00	—	13.00	13.00	31.12

(注) 当社は純粋持株会社であり、その業績の殆どがグループ会社間での内部取引によるものとなるため、個別業績の開示は省略いたします。

3. 平成23年3月期の連結業績予想の前提条件

当社は光学事業と電子事業で構成されております。

光学事業につきましては、当連結会計年度も初等教育向け書画カメラの販売が引き続き堅調に推移する見込みであり、これに加え、平成21年11月に発足した株式会社SUWA オプトロニクスも順調に業容を拡大いたしております。この結果、売上高は37,690百万円となる見込みであります。

電子事業につきましては、当連結会計年度において不採算事業の徹底見直しにより、更なる事業体質の改善を図ってまいります。この結果、売上高は7,660百万円となる見込みであります。

利益につきましては、上述の施策を基本とすることにより、営業利益 1,030 百万円、経常利益 990 百万円を計画いたしております。

なお、「負ののれん」がおよそ 400 百万円（1 期償却）発生する見込みであり、特別利益に「負ののれん」償却額を同額見込んでおります。この結果、当期純利益につきましては、880 百万円を計画いたしております。

※ 本資料に記載されている業績見通等については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上